

# 調布市商工会公式マスコット

## 勇丸くん着ぐるみ「貸出使用マニュアル」

作成者：勇丸くん実行委員会

作成日：令和5年3月8日

### I. 事前「確認事項」について

着ぐるみの貸出中の汚損や破損は、全て借りた団体の責任において賠償をしてもらいます。着ぐるみの管理には十分注意を払い、管理担当者と着用者および補助者は、着ぐるみを使用する前に必ずこのマニュアルを熟読してください。

#### (1) 人員体制

##### ① 着装者

- ・ 着装者は、1体につき1名以上（可能であれば2名以上の交代での運用体制を取ってください）
- ・ 着装者は、身長155～170cmの範囲内かつ平均体重の成人を対象としています。
- ・ 1回の着装時間は30分程度（夏場は15分程度を目安）を限度としてください。  
※同日に複数回の出演する際は、同一の着装者の場合、必ず30分以上の休憩を取ってください。

##### ② 補助者

- ・ 補助者は、1体につき1名以上（可能であれば2名以上で補助が行える運用体制を取ってください）
- ・ 移動や出演時には、必ず1体につき1名以上の補助者（子ども向けの行事の場合は2名以上）を配置して、着装者や周囲の安全の確保に努めてください。

##### ③ アシスタント

- ・ アシスタントは、1名以上（「補助者」が兼任可能）  
着ぐるみ着用時は声を発することができません。舞台出演時などは、アシスタントがマスコットの紹介文を読み上げたり、マスコットの気持ちを代弁したりする役割を担います。

##### ④ 運搬者

- ・ 運搬者は、一回の貸出につき2名以上（「着装者」及び「補助者」が兼任可能）  
運搬時には2名以上の人員が必要です。また車両がトラック（雨天等不可）以外の場合は、車内荷室空間が「奥行き90cm×高さ80cm×幅70cm」以上確保できる車両において運搬を行ってください。  
着ぐるみを受け取り及び返却の際は、必ず商工会事務局員の立ち会いのもと「勇丸くん着ぐるみ貸出チェックリスト」の確認を行ってください。（特に「受け取り」時には、商工会事務局員より着ぐるみ着方法の説明を必ず受けてください）

## (2) 控室の確保

- ①控室は、着ぐるみを広げて着替えることができる十分な広さ（2m×2m以上）を確保してください。
- ②着ぐるみを直接、地面や床に置くことはできません。着ぐるみの着用は、土足禁止の場所か床の上にマットやシートを敷いた上で行ってください。  
※特に頭部「目」「口」には絶対に手を触れないようにしてください。また控室では必ず頭部「底面」を下にした状態で維持・保管してください。
- ③パーテーションで区切るなど、着脱しているところを外部からのぞかれることがないように留意してください。
- ④控室はなるべくステージなどの登場ポイントに近い場所に確保し、着ぐるみを着用した状態で控室の出入口や移動通路を通り抜けることができるのか事前に確認をしてください。

## (3) 着ぐるみの確認

- ・着ぐるみは、12個のパーツが「頭部」、「胴体」、「脚部」、「装飾」の4つに分けて以下の内容で収納されています。※「勇丸くん着ぐるみ貸出チェックリスト（裏面）」参照
  - ◆頭部収納袋（4パーツ）：頭本体×1・ちょんまげ×1・腕部（右手）×1・腕部（左手）×1
  - ◆胴体収納袋（2パーツ）：胴体部（内側：茶色）×1・胴体部（外側：白色）×1
  - ◆脚部収納袋（2パーツ）：脚部（右足）・脚部（左足）
  - ◆装飾収納袋（4パーツ）：そろばん×1・面下インナー×1・被服部（羽織）×1・被服部（袴）×1

## (4) サイン等の確認

- ・着ぐるみ着用時は、声を発することができません。休憩に入りたい時や緊急時は、どのような合図をするか、着装者と補助者との間でサイン等を決めておいてください。  
※インカム等を活用し、着ぐるみ「着装者」と外部「補助者」とが直接的な意思の疎通ができる状態を常時確保することを推奨致します。

## Ⅱ. 「着装者」の注意事項

- ・着ぐるみの中はとても暑く、頭部は大きくて重く、手足の動きも制限される構造になっています。
- ・初めて着ぐるみを着装する際には、事前に着ぐるみを試着して、視界、動きなどに慣れた上で本番に臨み、次の点を守ってください。

### (1) 服装

- ①着用の際は、次に使用する人が快適に着用できるように、素肌が直接着ぐるみに触れないようにしてください。
- ②頭整髪料などがついていない状態で、面下インナー頭に着用します。
- ③髪飾り、ヘアピンやヘアクリップなどは使用できません。
- ④顔化粧をせず、ピアス、アクセサリー類をつけていない状態にします。

- ⑤眼鏡は使用せず、コンタクトを使用してください。やむを得ず、眼鏡を使用する場合は、曇り止めと眼鏡バンドを使用してください。
- ⑥直接肌が着ぐるみに触れないように、汗を吸いやすく動きやすい素材の長袖シャツと長ズボン（ジャージ、スパッツなど）を着用してください。
- ⑦薄手の手袋を着用して、直接汗が着ぐるみにつかないようにしてください。
- ⑧足首が十分隠れる丈の靴下を着用して、直接汗が着ぐるみにつかないようにしてください。

## (2) 注意事項

- ①こまめに水分補給を行い、休憩を挟みながら、体調に十分気をつけてください。
- ②火気の近くでは使用しないでください。特に着ぐるみ着用前後での喫煙は厳禁です。
- ③夏季期間(7~9月)は熱中症の恐れがあるため、屋外もしくは空調設備のない屋内で使用する場合には、保冷ベスト等を活用し着装者の安全管理に注意してください。
- ④池やプールなどの水の近くでは使用しないでください。雪や雨天時は、屋外に出ることができません。また、雨が上がっている場合でも、地面がぬかるんでいる場合は泥はねが予想されますので、地面の上は歩かないでください。
- ⑤使用中に降雨となった場合は、その時点で使用を中止し、タオルなどで水気を拭き取り、十分乾燥させてください。

## (3) 着装の手順

・1人では着装はできません。必ず補助者を含めた状態で行ってください。

### 【勇丸くん着ぐるみ着用方法】

- ①面下インナー（黒色）を着装してください。
- ②胴体部「内側（茶色）」と「外側（白色）」を結合（フロントリリースバックル結着）した状態で、胴体部を着装してください。※胴体部の肩紐を調整し着装者の身長に合わせてください。
- ③被服部「袴（はかま）」を着装者の頭上から被るようにして着装してください。着装後に胴体部と袴（はかま）とを結合（フロントリリースバックル結着）を必ず行ってください。
- ④脚部の「右足」及び「左足」を着装してください。脚部内にある「かかと」を固定するゴムバンドを必ず「かかと」に引っかけて脱落防止措置を行ってください。
- ⑤被服部「羽織（はおり）」を着装してください。「羽織（はおり）」にあるマジックテープ5カ所を「袴（はかま）」にあるマジックテープ5カ所と合わせて設置してください。
- ⑥装飾品「そろばん」を斜めがけにして着装してください。
- ⑦装飾品「ちょうんまげ」を頭部に設置後、補助者により着装者へ頭部を被せてください。着装者は頭部内のヘルメット部分に自身の頭部を合わせて脱落防止のゴムバンドを自身の顎にかけてください。  
※頭部の重みは、頭部内の「ヘルメット部分」及び「左右の肩バンド」の3点で、均等に重みが分散する様に調整してください。
- ⑧腕部の「右手」及び「左手」を着装してください。腕部内にあるゴムバンドに手通して脱落防止措置を行ってください。

## (4) 着装時について

- ①視界が狭いため、着ぐるみの頭部を壁にぶついたり、足下に寄ってきた子どもにぶつかることがあります。補助者の誘導に従って移動並びに行動をしてください。
- ②マスコットとしてのイメージが壊れるため、着装時の会話・発声は厳禁です。事前に補助者と「緊急事態」、「トイレ」などを知らせるサインを決めておいてください。
- ③マスコットとしてのイメージを損なう行動は慎んでください。例えば、子どもが攻撃してきた時も、反撃はせずに、補助者に合図して補助者から制止してもらうようにします。
- ④走ったり、寝転がったり、子どもを抱きかかえる動きは禁止です。
- ⑤「階段」は特に一段ずつ補助者と確認しながら乗降してください。
- ⑥無理のない着用を心がけ、必ず30分に1回（夏場は15分に1回）は休憩を取ってください。  
※途中で体調不良を感じた場合は、補助者に合図して速やかに交代するようにしてください。

## Ⅲ. 「補助者」の注意事項

- ①着ぐるみ着装者は、大変視界が狭いので、人や物にぶつかったり、段差につまずいたりしないように、周囲の環境に気を配って、声をかけながら誘導します。
- ②常に着ぐるみ着装者のそばを離れず、着装者から合図があった時にはすぐに対応できる距離を保ってください。
- ③着ぐるみを誘導するときは、斜め前に位置し、着ぐるみの手を引いて誘導してください（子どもが多い会場などの場合は、2名以上の補助員を確保し、前後に分かれて付き添い、子どもの突進行為は補助者が必ず止める）。
- ④誘導をしているときや握手および写真撮影に応じるときは、着装者ではなく、勇丸くん着ぐるみに話し掛けるように声掛けをしてください。  
例：「勇丸くん、お友達が握手したいって言っているよ」、「勇丸くん、足下の段差に気をつけてね」など  
「誰が中に入っているの？」などの質問へは、「勇丸くんは、勇丸くんですよ」とにこやかに応えてください。
- ⑤周囲に誰もいない場合でも、控室以外では着装者と無駄話はしないでください。
- ⑥補助者は、着装時間の管理も行い、30分以上（夏場は15分以上）の連続着装にならないようにしてください。

## Ⅳ. 返却時の注意事項

- ①頭部内側に付着した汗及び外部の汚れは、きれいなタオル（又は「固く絞った水拭きタオル」）などで拭き取り、内部に無香料の消臭・殺菌スプレーを吹きかけ、風通しの良いところで陰干しして、よく乾かしてください。
- ②服やボディは、ハンガーにかけた状態で、風に当てるようにしてください。室内干しをする時は、扇風機などで送風して乾かしてください。
- ③靴の裏の汚れをよくふき取り、乾いた新聞紙を丸めて靴の中に詰めてください。
- ④表面が汚れた場合は、市販の洗濯用洗剤を溶かしたぬるま湯で叩くようにして拭き、その後、固く絞っ

たきれいなタオルで軽く水拭きしてください。

⑤手袋が汚れた場合は、おしゃれ着洗い用洗剤で押し洗いをしてください。

⑥面下インナー（黒）は、必ず洗濯をして返却してください。

上記を行った上で、着ぐるみ等が完全に乾いた後に返却してください。

⑦運搬は必ず専用の収納袋に入れて行ってください。

⑧頭部は、顔面を下向きに置かないように気をつけてください。

⑨車両での移動の際は、頭部が潰れないように、上に物を置いたり、狭いスペースに無理に押し込んだりしないでください。

⑩返却前にパーツ一式が揃っているか必ず「勇丸くん着ぐるみ貸出チェックリスト」でチェックしてください。着ぐるみを返却に来た時に、商工会事務局員立ち会いのもと「勇丸くん着ぐるみ貸出チェックリスト」に基づき着ぐるみの各パーツの確認や汚損などの確認をします。

#### 【貸出時必要書類】

(a) 「勇丸くん着ぐるみ貸出申請書」

(b) 「勇丸くん着ぐるみ貸出チェックリスト（表面・裏面）」

(c) 「貸出団体代表者身分証明書（又は「運搬責任者身分証明書）」

以上